

2023年9月29日

報道関係各位

熊本国際空港株式会社

空港消防車の放水訓練における泡消火剤の放出について(第2報・最終報告)

当社が管理運営する阿蘇くまもと空港におきまして今年8月2日、空港消防車の放水訓練中に泡消火剤が放出される事案が発生いたしました。その後も継続して泡消火剤の回収に努め、事案発生後の対応内容と再発防止策について整理しましたのでご報告申し上げます。

本事案について、空港運営を担う当社は大変重く受け止めており、再発防止に努めてまいります。

記

- 1. 事案概要** 2023年8月2日(水)20時15分ごろ、阿蘇くまもと空港内消防庁舎前(エプロン側)で消防2号車の放水訓練中、有機フッ素化合物の一種「PFOS」を含む泡消火剤が放出された。ただちに放水を中止して泡消火剤の回収を行った。
※2023年8月3日公表済み
- 2. 原因** 消防車両メーカーによる当該車両のシステム調査、空港消防隊員への聞き取りや当日の動作確認を行ったが、原因究明には至らなかった。
- 3. その後の対応**
 - ・放出範囲を4回にわたり洗浄。洗浄水と吸着マットは全て回収し、タンクなどで保管。
 - ・放出範囲からの流水路のうち、地下浸透前、最終の集水地点である沈砂池で水質調査を行い、国の暫定指針値を超えていないことを確認。
 - ・回収済の洗浄水や使用済み吸着マットなどについては、11月を目途に処分。

4. 水質調査結果

	沈砂池の検出状況
8月4日採取分	2.4ng/l
8月18日採取分	14ng/l
9月25日採取分	6.9ng/l

※国の指針値(暫定)=50ng/l

5. 再発防止策

- ・当該消防車両のシステムの再点検を実施し、正常であることを確認。
- ・空港消防隊員に対し車両のシステム操作の再教育を行い、人的ミスを防ぐための操作手順を確認及び泡消火剤放出ボタンにカバーを設置。
- ・現在当社で保有する PFOS 含有泡消火剤については、当該車両に搭載されている薬剤も含め、11 月を目途に非含有消火剤に入れ替え。

以上

【お問い合わせ先】

熊本国際空港株式会社

総務・経理部

電話／096-232-2311

(平日午前10時～午後5時)